

# HOYOG

教区新報

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸 (078) 341-5949 (代)  
【編集】教区基推委広報部

2003. 11 137号

## 総代会ブロック別研修会を終えて

去る十月十九日東播プロック(加古川・高砂・播磨東・播磨中・多可)の総代会約百二十名が兵庫大学において午前十時より午後四時まで熱心に研修いたしました。今年度は各組の会長さんがかなり入れ替わり要

領が分かりにくかったので、まず五人の総代会長が九月十九日、加古川市の某レストランで昼食を挟み十時ごろから四時ごろまで事前の打ち合わせを行いました。内容は①役員の仕事分担とその内容②各組からの出席

人数の割り振り③分科会座長とその進め方④各分科会の参加者の割り振り⑤前日の会場準備と当日の準備、後片付け等具体的な計画を詰めました。おかげさまで各総代さん方も積極的に協力していただき、何とか無事に本研修会が終了しました。このことを総代各位も大変喜んでおられるところですが、研修の内容についてですが、午前中の久堀弘

義先生のお話で戦後の教育で学校においてもまた家庭においても宗教教育をなおざりにしてきたため日本人の美しさ、やさしさ等がなくなってきたというお話に大変共感を覚えると同時に感銘を受けました。また分科会での先生の講話がありその中で先生は運如上人のお言葉を引用され「世間の暇を閑きて聞け」とすなわち関の文字には二十三通り



兵庫大学の講堂での研修会

も意味があるがその中に「押し広げる」という意味があると説明されそれは「時間を作る」ということで忙しい中にお参りの時間を作り出すということであるとお話しされました。大変心に残るお話で猛省したようなわけです。次に分科会の発表で特に頭に残っているものとして①大人だけでなく子供をつれてお参りする。②子供中心の報恩講を営む。③住職と門徒とのコミュニケーションを図る、例えば、酒を酌み交わす、とか境内に花を植えて共に作業する。④住職さんの研修充実を(わかる、魅力のある話) ⑤総代が門徒に声をかける(総代が率先してお参りする) ⑥寺行事の時に若い人にも頼む工夫が必要等他にも沢山出ました。最後に、本研修会実施の手続きとして参加者用回答ハガキは、必ず住職から総代に渡し、総代が教区事務所へ出すようにする。また少なくとも参加者名簿は、研修日の一週間位前にブロック幹事に送付して欲しい。分科会の割り振り、弁当の注文等に支障をきたすため。建設的な発表があり、実りあるブロック研修となった。

前田 彰

この秋、ご門徒に百歳の誕生日を迎えられた方がいる。この秋、兵庫県下で今年九月末現在で、百歳以上の高齢者が一八六八人おられる。思っていた以上に長寿化は進んでいる。二〇五〇年には、男女平均寿命九十二才の時代が来ると政府は予想している。又、高齢者の増加は、二倍速のスピードで増え続ける、今後十年で人口の四分の一が六十五歳以上になり、二十年後には三割の数になる。また反比例して少子化は歯止めが効かず、出生率の低下は進み、二〇〇七年からは、総人口は減少化していくと推計されているから問題は深刻である。教区・組・寺院に於いても少子高齢化社会に向けて早く対応を検討していくことが急務と考える。心配される点は山ほどある。これから津波のように押し寄せて来る数々の問題を見据えれば、今だからこそ、同朋教団の再生が重要時と思ふ。「歎異抄」第五章の「一切の有情はみなもつて世世生生の父母兄弟なり」の宗祖のお心が力強くとも有難い。

近藤龍樹

### 教区だより 12月

12月2日(火)	寺婦正信偈連続講座 第7回日校指導者連続研修会 豊岡教堂報恩講	13時30分 13時30分 3日まで	15日(月)	別院常例法座 講師:副 高朗師	16日まで
3日(水)	布教教育成研修会		17日(水)	門推三役会	10:30~
4日(木)	組長会 教区相談員中央研修	15時 本山にて	19日(金)	教区一万人総結集、準備委員会	10:30~
9日(火)	仏婦単位会会長研修会 報恩講子どもの集い スタッフ会議	14:00~	20日(土)	スカウト仏教章習得講習会	
10日(水)	愛生光明園報恩講		21日(日)	仏青役員会	14:00~
11日(木)	同朋運動部門会議	13時30分	22日(月)	基推委連研部会	13時30分
12日(金)	門信徒会運動部門会議	13時30分	24日(水)	青僧会連続研修会 講師:宮崎 幸枝師 姫路にて	13:30~ 10:30~
13日(土)	まことの保育研修会	13時30分	26日(金)	総代会評議員会 門推幹事会	
14日(日)	仏社理事会	13時30分	31日(水)・1月1日(木)	報恩講子どもの集い 神戸別院除夜会・元旦会	別院にて

### お釈迦さまの生涯を描く絵本

このたび、自照社出版より文・豊原大成師(阪神西組西福寺住職)の『おしゃかさま』6巻が出版されました。こちらはやわらかな挿し絵とともに、お釈迦さまの80年の生涯を、126篇のトピックとエピソードでわかりやすく、兄弟子たちの逸話も数多くおさめ、教えとお釈迦さまの時代が平易に理解でき、幼い子どもから大人まで、自然にお釈迦さまの生涯と仏教の基本がわかる絵本です。



第6巻  
かがやくたびじ  
「ともしび」  
「たびに てる」  
「パータリ村」  
「チンダの こちそう」  
「やさしい お心」  
「クシナラの森」  
「さいごの おしえ」  
「お骨をかける」  
「お経の かいぎ」  
ほか

尚、1巻から5巻までは次のタイトルで発売中です。第1巻「おたんじょうからたびだちまで」第2巻「さとりとはじめてのおしえをとおく」第3巻「おしえのたび」第4巻「いろんなおでしたち」第5巻「おたんじょうから」※お問い合わせは自照社出版まで  
TEL 075-1251-6401  
■A5判変型 上製 60頁  
64ページオールカラー  
各巻定価1,000円(税込)  
全6巻(完結)発売中  
定価6,000円(税込)

### 青僧会25周年記念事業研修会

青年僧侶の会では25周年の記念事業として「金子みすずゆかりの地をたずねて」と題して研修旅行を左記日程にて開催いたします。

期 日 平成16年1月29日  
より30日まで

行き先 金子みすず記念館

・遍照寺

参加費 38,000円

申込 兵庫教区教務所内  
青年僧侶の会 山内まで  
ご多忙の折りと存じますが、お誘いあわせご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 敬 弔

奥田宏朗(神姫組明正寺衆徒)9月23日、84歳で往生  
林 教順(姫路西組眞宗寺住職)10月4日、70歳で往生  
西本章哉(阪神東組源正寺

前任職)10月4日、79歳で往生  
植戸賢城(神戸中組萬法寺衆徒)10月3日、79歳で往生  
佐藤浩一(阪神西組眞光寺衆徒)10月21日、79歳で往生  
※11月10日現在



この秋、ご門徒に百歳の誕生日を迎えられた方がいる。

# 恵信尼公を訪ねて

恵信尼公顕彰を、との今年度はじめに寺族婦人会においても活動方針が示されました。是非、私はご廟所をおたずねし、こぶしの森に行きたいと思ひ参加させて頂きました。今年は気候のよい初秋に計画して頂き行き易かったし、空路にて新潟の地にあつたという間の到着となりました。親鸞聖人が流罪に遭われてその後お許しが出て二年の年月を越後でご苦勞され、この地で浄土真宗のお法を各地で説かれ、越後七不思議となつたとのことでした。その一つの三度栗の孝順寺は元は豪農のお屋敷であつたが、縁あつて保田の地に聖人がご教化され、そのお札に焼き栗をいだけましたが、我が勤る弥陀の本願が末世に致さばこの栗根芽を生じて一年に三度花咲き実るべし、と述べられたとのことでした。その後おおせの通り十方の衆生を摂化、今は孝順寺の什器となつて残っているとのこと住職の説明でした。その地より八ツ房梅、数珠掛櫻の梅護寺に行き詣り、佛偈を教務所長様はじめ、参加の寺婦会員が同行の教



廟所にて

なんと有難いこととお念仏申し合掌致すばかりでした。国府別院の職員の方がおいでくださつて迎えていただき、詳しい説明をされた後、国府別院に参詣させて頂きました。仏教婦人会連盟の方々の篤いおもてなしと親鸞様を慕う仏讃歌を歌つてくださいました。何曲もあつたその歌詞は或る坊守様がお作りになられ有難くころに沁みるようでした。そして出してくださつた手作りのお団子の美味しかったこと！

別院においては恵信尼さま顕彰の活動として、国府仏婦連盟は廟所の護持と御念仏の朋の広がる事を願つて「こぶしの花の品々」を製作、販売しておられました。堀典子

# H O 日誌

9月2日 門推、三夜会、幹事会、青僧会、連続研修会、ご講師は童話詩人・矢崎節夫師、講題は「みんなちがってみんないい」◆4日 基推 第一回連研のための研究会／護持口調整にかかる近畿代表者協議会、京都東急ホテルにて◆6日 第一土曜仏教講座、ご講師は神戸西組信行寺・米田睦雄師／阪神東組結集大会、いたみホールにて、テーマは「ひびきあういのち」ご講師は駒沢勝氏、内容はるんびに太鼓等◆7日 仏壯、姫路、西播ブロック研修会、御津町文化センターにて、ご講師は竹内文昭師、讃歌指導など／別院仏教婦人会定例法座、ご講師は高砂組善行寺・網干善一郎師、講題は「いつもここから生きて行く」◆8日 近同推寺婦研修、本願寺鷺森別院にて、10日まで。ご講師は龍谷大学教授・赤松徹真師、全国同宗連議長・佐々木兼俊師◆12日 少年、第4回日校指導者連続研修会◆13日 姫路中組結集大会、姫路市民会館にて、テーマは

座／布教団、西播常例懇談会◆22日 近同推常任委員会、同朋センターにて／総代会丹波ブロック研修会、水上西組正福寺にて◆23日 総代会但馬ブロック研修会、豊岡教室にて◆24日 総代会姫路ブロック研修会、姫路中組法性寺にて◆25日 総代会西播ブロック研修会、赤穂南組永応寺にて／連区門推研修協議会◆26日

教区徳島北組光源寺仏婦◆27日 基推委、企画常任委員会◆28日 基推、門信徒◆4連区門推研修協議会、奈良にて／別院参拝、四州会運動部門会議◆29日 別院参拝、大阪教区河南北組教岸寺・大阪教区島上北組門徒総代会◆30日 別院参拝、山口教区山口北組正善寺・福岡教区那珂組光徳寺・光行寺



賛歌衆による合唱

26日 基推委、教学伝道部門会議◆28日 第12回連研修了者大会、本願寺にて 兵庫教区第十二期連研修了者大会が、九月二十八日本願寺会館において、参加者約六百人（引率者・スタッフを含む）で開催され、組連研の話し合い話し合い法座などを通じてできたみ法の仲間との和やかな雰囲気をおたため確認しました。



本願寺会館にて

門徒推進員の前田厚子さんの司会進行、坂本旭さんの開会の言葉が始まり、中央仏教学院講師の豊島学由師から「御同朋の社会をめざして」全員聞法・全員伝道」と題して記念講演があり、み教えに生きる仲間のつどう教団として、一人ひとりがお念仏の道を歩む

この大切さを聞かせていただき、中央教習への思いを一層深めました。昼食の後、阿弥陀堂において帰敬式に臨み、組連研を終了した喜びに加えて、門徒としての名告りである法名を受け、残りの方たちは、瓦の葺き替えの始まった御影堂修復現場見学と書院参観に感嘆の時を過ごしました。

再び本願寺会館に集い、連研修了者三名による体験発表が行われ、神戸湊組高松寺の的場輝實さんは、ある宗教から本願寺派に戻って連研に参加するようになり、浄土真宗に出遇えたことを素直に喜びとして語られました。神崎組信光寺の養父誠さんは、同朋運動を学びたいと思つて参加して、差別の痛みを自分の事として受けとめ、「門徒です。」と胸を張つて言いたいと言つて強く発表され、多紀組浄福寺の泉本俊さんは、組の行事にも積極的に参加することで、多くの仲間ができたことの喜びを話されました。発表を受けて、「み教えに会い、喜びという体験を得たこと。共に歩む仲間を全国に広げて行こう。」との助言がありました。記念式典では、中井修教

区門推会長より中央教習への参加の呼びかけの後、参加者を代表して佐用組の服部修和さんが、「連研を終了したことの意味を確認して、中央教習を受講し行動ある念仏者としての歩みを決意します。」と表明して大会を終了しました。

宮里哲秀 基推委、企画常任委員会 29日 布教団、役員会 別院参拝、大阪教区西淀川組光明寺若婦人会◆30日 寺婦、研修旅行、国府にて ◆10月2日 組長・組相談員合同会議／組長研修／少年、第5回日校指導者連続研修会◆3日 教区勤式集研修会／別院参拝、安芸教区安芸南組善行寺／部落解放研究第37回全国集会、ポトアイランドにて5日まで◆4日 第一土曜仏教講座、ご講師は本願寺派布教使足利孝之師、講題は「信心をいただく」◆6日 総代会、阪神・神戸ブロック研修会◆別院仏婦永代経法要、ご講師は三浦性暁師◆8日 近畿寺婦研修会、やまと郡山城ホールにて、ご講師は梯實圓師・うたとお話に荒井敦子師／仏婦幹部研修旅行、国府にて10日まで／別院参拝、大阪教区茨田組成覚寺若婦人会・富山

した。少しの時間しかなかった。こぶしの花のTシャツやエプロンを求め協力と感謝とさせていただきました。こぶしの森にもっと多くのこぶしの木が増えて恵信尼さまの廟所が白いこぶしの花に囲まれ、後の人々の心の拠り所となることを願わずにはおられませんでした。教務所長様、職員先生はじめ27人の寺婦の方々、また共に枕を並べ食した3人の坊守さま、何回か以前の寺婦旅行の懐かしい写真を頂いたり、また今回の思い出の写真やデジカセで撮ったCDを早速お送りいただいたり、本当に有難く、思い出一杯の研修旅行となりました。

# 千鳥ヶ淵全戦没追悼法要に参拝団

九月十八日、東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において追悼法要が営まれた。ご門主臨席のもと、全国各地から僧侶や門信徒をはじめ、四十一人の国会議員、財界関係や各国の駐日大使など二千五百人が参拝した。この法要は、すべての戦争犠牲者を偲び、非戦平和への決意を新たにするため、昭和五十六年から毎年営まれており、今年で二十三回目となる。

法要に先立ち、午後零時四十五分から「つどい」が行われた。宗門関係学校・千代田女学園の聖歌隊の「聞こう！語ろう！真実の道！」ご講師は利井明弘師、山崎清明師による仏教讃歌指導など

14日 仏壯、岡山ブロック研修会、岡山北組宝福寺にて、ご講師は増井浄見師・杵築宏典師、作法と日常のおつとめなど◆15日 仏壯、丹波・但馬ブロック研修会、出石組勝林寺にて、ご講師は西池哲俊師、別所法官師、講義・作法など／別院常例法座、ご講師は京都教区上東組明福寺・飯島憲彬師、講題は「他力といのり」16日まで◆17日 保育、主任代表者会◆18日 第23回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要・兵庫教区団体参拝、19日まで◆22日 別院秋季彼岸会、24日まで、ご講師は東北教区山形組常得寺・前田利泉師、講題は「浄土真宗」尚、24日は納骨者総追悼法要として敬修◆24日 別院参拝、北海道教区空知南組正教寺

九月十八日、東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において追悼法要が営まれた。ご門主臨席のもと、全国各地から僧侶や門信徒をはじめ、四十一人の国会議員、財界関係や各国の駐日大使など二千五百人が参拝した。この法要は、すべての戦争犠牲者を偲び、非戦平和への決意を新たにため、昭和五十六年から毎年営まれており、今年で二十三回目となる。

法要に先立ち、午後零時四十五分から「つどい」が行われた。宗門関係学校・千代田女学園の聖歌隊の「聞こう！語ろう！真実の道！」ご講師は利井明弘師、山崎清明師による仏教讃歌指導など



焼香する参拝者（千鳥ヶ淵仮設テント内）